

---

# ある午後の話

森下 加夜子

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ある午後の話

### 【Nコード】

N5830M

### 【作者名】

森下 加夜子

### 【あらすじ】

The Golden Afternoon?

ものみな金色にかがやく午下り。新緑萌ゆる土手の上。

ロリーナはかわいい妹をつれてピクニックに来ていたんだ。

ロリーナは木陰で読みかけだった本の続きに手をつけたのだけど、妹のほうはすぐに退屈してしまったの。

本をのぞき込んで「台詞も挿絵もないなんてつまんない」なんて言っ  
つてね。

横になって甘えたり、シロツメクサの花冠を作ったり。

それでも姉さんは読書に夢中でかまってもらえないものだから、  
しまいには川まで遊びに下りちゃった。

ロリーナのほうは気がついたら妹がいなくなってもものだから、  
あわててキョロキョロ探してね。

川で遊んでいるのを見つけたときにはついいため息がでちゃった  
のよ。

「もう、アリスったら！

あなたが眠らないとお話ははじまらないのに！」

今ならロリーナにだって目を閉じれば走る白ウサギが見えるのに、  
かわいそうなウサギは今日も急ぎ損。

ロリーナがかわりに追いかけてあげたいくらいの気持ちなのだけど  
ロリーナはもう13歳。ウサギのたて穴は通れない。

彼女の傍らには読み終わった本と、とうにしおれた花冠が並んでい  
た。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5830m/>

---

ある午後の話

2010年10月11日05時35分発行